

第77回 四国高等学校陸上競技対校選手権大会 競 技 注 意 事 項

(春野総合運動公園陸上競技場)

1. 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

- (1)練習は、指定された練習場所を使用する。補助競技場では、トラック競技・跳躍競技および投てき競技（砲丸投）の練習を主にを行い、円盤投・ハンマー投・やり投については、運動広場Bで行うものとする。（練習会場使用日程表参照）
- (2)競技場内での練習は審判員の指示に従う。投てきの練習には特に安全に注意して行うこと。
- (3)棒高跳の練習については、大会当日9:00から主競技場内を使用することができる。

3. 招集について

- (1)招集所は、第3ゲート外側（補助競技場への通路横）に設ける。
- (2)招集時刻は競技時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目	予 選		決 勝	
	招集開始 (点呼開始)	招集完了 (移動開始)	招集開始 (点呼開始)	招集完了 (移動開始)
トラックの部	30分前	20分前	30分前	20分前
フィールドの部			50分前	40分前
棒 高 跳			70分前	60分前
混 成 競 技			25分前	20分前

(3)招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

(4)招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻までに、招集所で待機し、点呼を受ける。その際、競技者係にアスリートビブス・スパイク・商標等の確認を受ける。
- ②混成競技は第1日目・第2日目とも第1種目は競技者係が招集所にて招集するが、それ以降の種目については混成競技係が混成競技控え場所で点呼・確認後、各競技場所に誘導し担当審判員に引き継ぐ。（混成競技控え場所は「トレーニング室」メインスタンド一階北側とする）
- ③招集所ならびに混成競技控え場所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
- ④代理人による点呼は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が招集所に2種目同時出場届を提出する。招集所で用意する。
- ⑤リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意しているオーダー用紙を1枚提出すること。また、次のラウンドにおいても予選に準じて行うこと。
- ⑥欠場する場合は、招集開始時刻までに招集所に欠場届を必ず提出すること。招集所で用意する。

4. 競技について

- (1)競技者は、当該種目以外グラウンド（競技区域）内に立ち入ることはできない。
- (2)短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ることに。
- (3)トラック競技において、欠場者がでた場合はそのレーンを空けて行う。
- (4)トラック競技（セパレート種目）において、8名（8チーム）以内の場合は2～9レーン、9名（9チーム）の場合は1～9レーンで行う。
- (5)トラック競技の計測は、全て写真判定装置（全自動電気時計 1/100）で行う。
- (6)4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカーを1カ所使用することができる。マーカーは招集所に用意する。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (7)4×400mリレーの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ順に内側より並ぶこと。コーナートッ

プとは、第3コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点のことである。この後は、並んだ順序を変えてはならない。なお、次走者は、テークオーバーゾーンの内側より走り出さなければならない。

- (8)跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマークを2カ所置くことができる。マークはそれぞれの審判員が現地で渡す。それ以外は使用してはならない。
- (9)三段跳の踏切板は、男子は11m、女子は9m地点に設置する。
- (10)携帯電話、ビデオ、デジタルカメラ等の電子機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (11)競技中に起きた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則第146条に基づき、正式に結果が発表されてから30分以内に、同一日に次のラウンドが行なわれる種目では15分以内に、当該競技者自身または、顧問が口頭で審判長に申し出ること。
- (12)スタートについては、2024年度ルールに準ずる。

5. 競技用シューズについて

スパイクの長さは9mmをこえてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は12mmをこえてはならない。これらのスパイクの直径は、先端が4mm以内でなければならない。また、スパイクの数は11本以内であれば何本でもよい。

シューズの靴底(ソール)の厚さについて(TR5.2 TR5.13)

- a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
- b トラック種目について、800m未満の種目(ハードル種目、4×100mR、4×400mRを含む)は20mm以下、800m以上の種目(障害物競走を含む)は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
- c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソール厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。

※日本陸連競技規則に準ずる。

6. アスリートビブスについて

アスリートビブスは指定された大きさ(縦16cm×横24cm)で、ユニフォームの胸部と背部に付けること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。またトラック競技者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの左右後方に付けること。また、4×400mリレーの第2・第3走者、混成競技の最終種目については主催者の用意したナンバーカードを胸部に付けること。

7. 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について

陸上競技ルールブック2024「競技会における広告および展示物に関する規程」の通りとする。

以下「抜粋」

〈アスリートキット〉

- (1) 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット、など

○ 上衣 下衣[それぞれ]

- ・製造会社名/ロゴ:1つ/1箇所 40cm²(高さ5cm)まで
 - ・スポンサー名/ロゴ:1つ/1箇所 40cm²(高さ5cm)まで
 - ・所属団体名/ロゴまたは学校名/ロゴ:[所属団体名/ロゴ]
- 上衣 前後各1箇所 *長さは問わないが、高さは前:5cm、後ろ:4cmまで
下衣 1箇所 *長さは問わないが、高さは5cmまで
[学校名/ロゴ]上衣・下衣 大きさの規制なし

- (2) 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc)

製造会社名/ロゴ:1つ/1箇所 6cm²(高さ3cm)まで

*メガネおよびサングラスについては、製造会社名/ロゴを2箇所掲出できる

所属団体名/ロゴまたは学校名/ロゴ:1つ/1箇所

[所属団体名/ロゴ] 6cm²まで

[学校名/ロゴ] 大きさの規制なし

〈個人の所有物及びアクセサリ〉

- (1) タオル・バッグ

- ・製造会社名/ロゴ:1つ/1箇所 40cm²(高さ5cm)まで
- ・スポンサー名/ロゴまたは競技者名/競技者個人のハッシュタグ:2つ2箇所 それぞれ40cm²(高さ5cm)まで

*バッグについては、スポンサー名／ロゴのうち1つ／1箇所を、次のいずれかに変更できる

[所属団体名／ロゴ] 長さは問わないが、高さは5cmまで

[学校名／ロゴ] 大きさの規制なし

(2) 飲料ボトル

・ドリンクの提供者、製造会社、および(または)スポンサー名／ロゴ:2つ／2箇所 それぞれ40cm²(高さ5cm)まで

*ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

(6) 商標違反時の対応

着替えさせる(裏返しに着させる)・テープを貼って隠す。

8. 競技の抽選ならびに番組編成について

(1)予選におけるトラック競技のレーン順、ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。

(2)トラック競技の決勝ならびに跳躍・投てき競技の決勝については、主催者が公平に組み、レース順・試技順を決定する。その結果を記録掲示板に掲示する。

(3)リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただしどのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち、少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだメンバーでなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。

また、リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームで参加しなければならない。

(4)トラック競技においてプラス出場者を決める場合、その最下位で同成績、(判定写真を拡大し、細部まで読み取り着差を判定し、着差がない。)が出た場合は、下記の方法で決定する。

① 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR 競技の場合

同成績者については、次のラウンドへ進むことができる。レーンに余裕のない場合は、同成績者または、代理人によって抽選する。

② ①以外の種目の場合

同成績者については、すべて次のラウンドに進めることとする。

*全国大会出場者の選出はこの限りでない。

9. 競技用具について

(1)競技に使用する用具はすべて主催者が用意した物を使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有の物を使用することができる。ポールの検査は点呼時に跳躍審判員が行う。投てき用具については、競技場に準備されていない型番に限り検査を実施し、使用を認める。持ち込みを希望する者は、当日招集開始1時間前までに、用具を第1ゲート用器具庫に持参すること。検査に合格した用具は、参加競技者で共有できるものとする。競技終了後に第1ゲート用器具庫で返却する。

(2)練習用として個人の用具は主競技場に持ち込んで서는ならない。

10. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

走高跳	男子	1m70 1m80 1m90(練習) 1m75 1m80 1m83 1m86 1m89 1m92	以降 3cm
	女子	1m40 1m50 1m60(練習) 1m45 1m50 1m53 1m56 1m59 1m62	以降 3cm
棒高跳	男子	3m20 3m60 4m00 4m40 4m80(練習) 3m30 3m60 3m90 4m00 4m10	以降 10cm
	女子	1m90 2m30 2m70 3m10 3m50(練習) 2m00 2m30 2m60 2m70 2m80	以降 10cm

(1)走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。

(2)第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm 単位とする。なお、全国大会出場決定のための試技も行う場合がある。

(3)棒高跳の公式練習は、バーかけ練習(ゴムバー)2回とする。

11. 混成競技におけるバーの上げ方

走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、状況により変更する場合がある。設定より低い高さを希望する場合は練習開始前に申し出ること。(男子 1m50・女子 1m20 までは5cm 単位でバーを上げる。)

男子8種	1m45 (練習)1m50 1m53 1m56 1m59 1m62 1m65	以降 3cm
女子7種	1m15 (練習)1m20 1m23 1m26 1m29 1m32 1m35	以降 3cm

12. 競技場の入退場について

(1)競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。

13. 表彰およびインタビューについて

(1)各種目第3位までの入賞者はユニフォームまたはチームジャージで表彰式に出席すること(下半身はジャージ等が望ましい)。その際、入賞者は決勝終了後すぐに入賞者控え場所(正面玄関ロビー内)で待機し、係員の指示を受けること。

(2)入賞者のインタビューは、入賞者控え場所で行う。

(3)入賞者の得点は、1位8点、2位7点3位6点…8位1点とする。

(4)男子・女子それぞれ最優秀選手の表彰を行う。

14. その他

(1)大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病はメインスタンド下の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。

(2)更衣は主競技場の更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。

(3)記録は正面玄関1Fの記録掲示板に掲示する。

(4)記録証の交付を希望する競技者は、陸上競技場本部に用意してある記録証交付願に交付料金500円を添えて申し込むこと。

(5)競技場内でテントを張れる場所はバックスタンド及び、両サイドの芝生スタンドとする。横断幕・部旗・のぼり等については、メインスタンドを除く両サイド及び、バックスタンド2階の後部とする。横断幕・部旗は最前列手すりに掲げても構わない。また、個人名入りの横断幕等は禁止する。

(6)その他、詳細については事前監督会議で説明する。

15.練習会場使用日程

	6月14日(金)	6月15日(土)	6月16日(日)	6月17日(月)
主 競 技 場	11:00～17:00 トラック競技 跳躍競技	7:30～9:00 トラック競技 跳躍競技	7:30～9:00 トラック競技 跳躍競技	7:30～9:00 トラック競技 跳躍競技
雨 天 練 習 場	11:00～17:00 トラック競技	7:30～17:00 トラック競技	7:30～17:00 トラック競技	7:30～15:00 トラック競技
補 助 競 技 場	11:00～17:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投	7:30～17:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投	7:30～17:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投	7:30～15:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投
運 動 広 場 B	ハンマー投 11:00～13:00 円盤投 13:00～15:00 やり投 15:00～17:00	ハンマー投(女子) 7:30～9:10 円盤投(男子) 9:10～10:10 ハンマー投(男子) 10:10～12:10 円盤投 12:10～13:10 円盤投(女子) 13:10～14:40 やり投 14:40～17:00	円盤投(男子) 7:30～9:10 やり投(女子) 9:10～11:40 やり投 11:40～17:00	やり投(男子) 7:30～11:40

※審判委員の指示に従い、全ての競技者は安全に留意すること。

『補助競技場・雨天練習場の使用について』

- ① 補助競技場の使用について(レーンの使用については以下の通りである)
- ・1～2レーンは、周回練習のみ使用可とする。ただし、1レーンはトライアル、2レーンはジョグ練習とする。(集団ジョグは不可)
 - ・3～6レーンは、短距離、リレー練習を優先する。
 - ・7～8レーンは、400mHを優先する(大会2日目まで)。
 - ・テント等を設営しての独占的な使用を禁止とする。
- ② 雨天練習場の使用について
- ・ピストルの使用及び、シート等を敷いての独占的な使用をすることを禁止とする。
 - ・ウォーキング・ジョギングなど、ペースが著しく遅いウォーミングアップまたは動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は補助競技場で行うこと。
 - ・第2ゲートから第3ゲート下雨天練習場【スパイク禁止】
 - ・・・周回は、時計回り。動きづくりは、第2ゲート方向から第3ゲート方向とする。
 - ・第3ゲートから第4ゲート下雨天走路練習場【スパイク可】
 - ・・・第3ゲート方向から第4ゲート方向走行とする。
 - ・ハードル・スターティングブロックは使用できない。